

ThorensTD124 の導入(8)
ーフォノイコライザーの検討(3)ー

1. 始めに

前報(7)に引き続き、フォノイコライザーについて試聴していきます。

2. ThorensTD124 の試聴方法

前報(7)の iPhono に引き続き、47 研のフォノイコライザー4718 信楽で試聴します。



カートリッジは、SPU Synergy とし、4718 に直接入力します。
試聴音源は、前報(7)と同様、聴きなれた下記を使用しました。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマンド

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H

ミトマニア

ベーレン・ゲスリン

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

3. ThorensTD124 の試聴方結果

4718 信楽の出力を TruPhase に入力しますと、三角帽子は、適度な音の立ち上がり
と響きが聴き取れます。

チェンバロ協奏曲は、適度の解像度と響きのバランスが取れたアンサンブルの表情
がでています、

ミトマニアは、これまでの印象では抜けは良いが、少し無機的な感じを受けていま
したが、適度にウオームな表現もあって、バックの古楽器の質感も確保されていま
す。

倍賞千恵子は、すっきりとした上に、伸びやかで細かいニュアンスも表現できてい
ます。

4718 信楽は、これまですっきりとしていますが、若干素っ気ない印象でしたが、
ThorensTD124 との組み合わせでは、有機的な音色も感じられるようになっていま
す。

4. まとめ

4718 信楽は、ThorensTD124 との組み合わせで、これまでの素っ気ない印象から
細かいニュアンスも表現できるようになっています。

以上